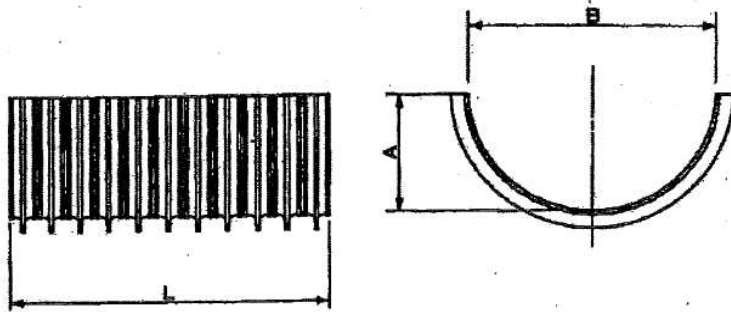


15 集水ます用半割塩ビ管（リブ付管）

集水ます用半割塩ビ管（リブ付管）



<標準寸法>

単位 mm

呼び径	L	A	B
150	240	73	145
200	240	111	228

- 備考1. 各寸法及び許容差は製造会社の材料規格値による。
 2. 原管は、下水道用リブ付硬質塩化ビニル管（J S W A S K-13規格品）とする。
 3. 端面（全周）は、糸面取りとする。
 4. 許容差の無い寸法は、参考値とする。

16 集水ます材料表

集水ます材料表

(リブ付管使用)

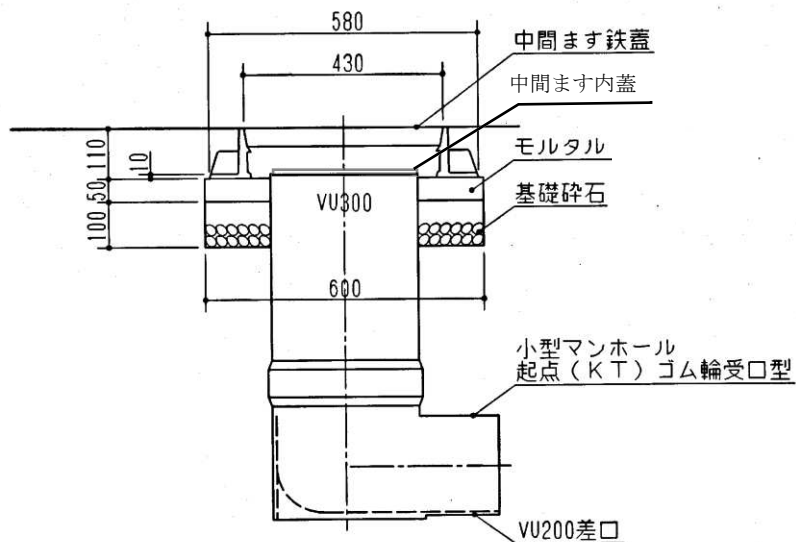
材 料 名	単位	集水ます	集水ますⅡ型	集水ますⅢ型	簡易集水ます	摘 要
砂	m ³	0.009	0.009	0.009	—	
基礎ブロック ①	個	1	1	1	—	
基礎ブロック ②	個	1	1	1	—	
側壁ブロック ③	個	3	3	3	—	
上部ブロック (1号) ④	個	1	2	2	—	
上部ブロック (2号) ⑤	個	1	1	1	—	
基礎コンクリート	m ³	—	—	—	0.009	
モルタル	m ³	0.005	0.007	0.007	—	
集水ますモルタル蓋	個	1	—	—	—	
縁石ブロック (い)	個	1	—	—	—	
縁石ブロック (ろ)	個	1	—	—	2	
集水ますⅡ型ブロック	個	—	1	1	—	
集水ますⅢ型蓋	個	—	—	1	—	
密閉蓋	個	—	1	—	—	
縁石コンクリート	個	—	0.006	0.006	0.009	
型枠	m ²	—	0.0762	0.0762	0.237	
簡易集水ますブロック (A)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック (B)	個	—	—	—	1	
簡易集水ますブロック (C)	個	—	—	—	1	
簡易集水ます蓋	個	—	—	—	1	
集水ます用半割塩ビ管 (リブ付管)	本	1	1	1	—	
コンクリート	m ³	0.0117	0.0117	0.0117	—	集水ます用

17 中間ます標準図

中間ます標準図

(単位：mm)

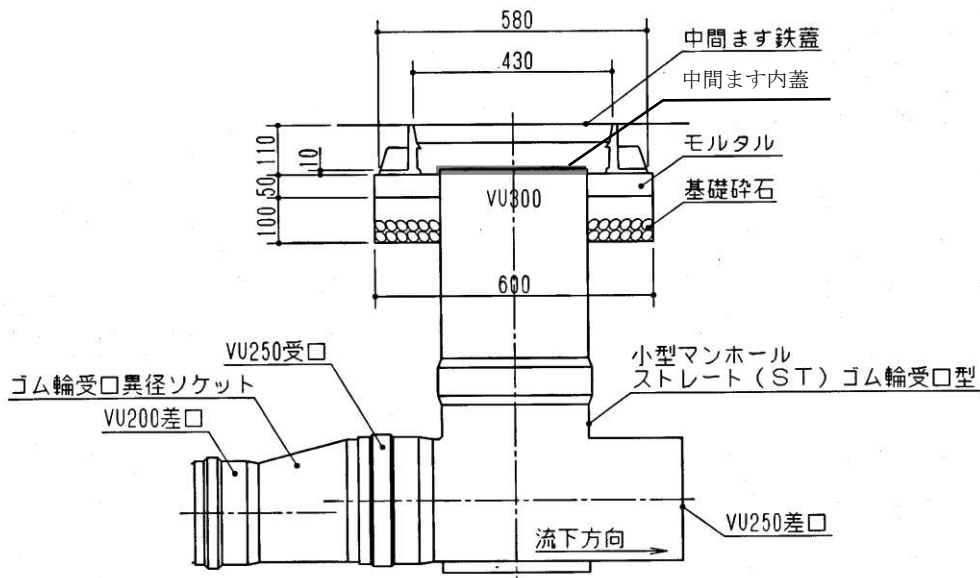
起点用・落差用



中間ます芯～管口

本管径	長さ(下流側)
200mm	29 c m
300mm	35 c m

同管底用



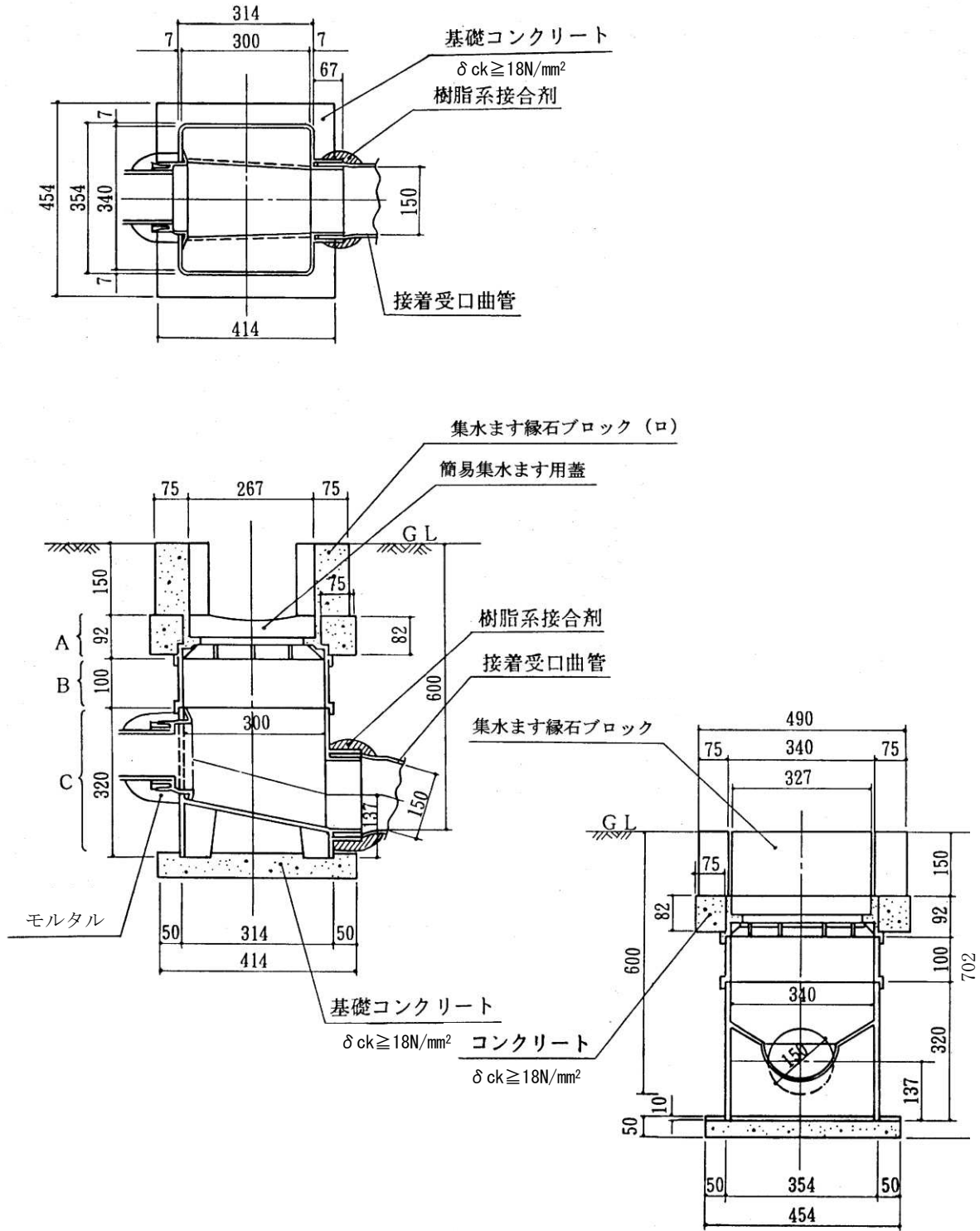
中間ます芯～管口

本管径	長さ(上流側)	長さ(下流側)
200mm	18 c m	29 c m
300mm	19 c m	35 c m

18 簡易集水ます標準図

簡易集水ます標準図

(単位:mm)



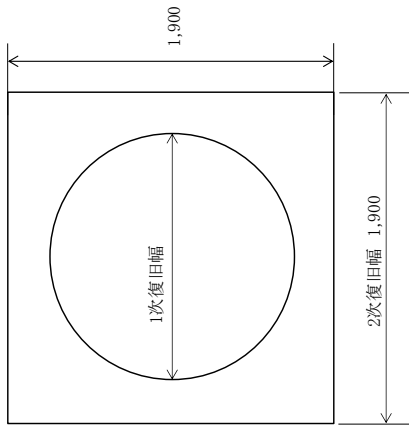
19 道路掘削跡復旧工事施行要綱
復旧等工事施行指針

工事請負共通仕様書
下水道施設土木工事編
令和3年3月
大阪市建設局
添付資料 23・24 参照

20 マンホール蓋取替工事標準図

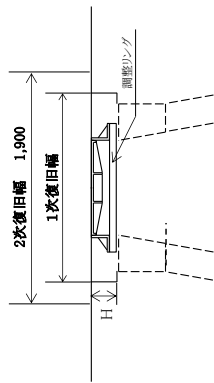
マンホール蓋取替工事標準図（人力施工による工法）

平面図（共通）

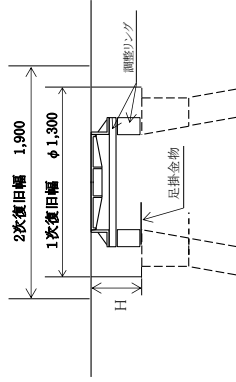


(単位:mm)

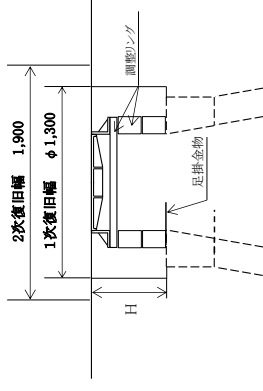
断面図（ $H \leq 259\text{mm}$ ）



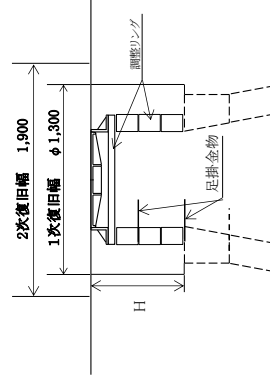
断面図（ $H=260 \sim 419\text{mm}$ ）



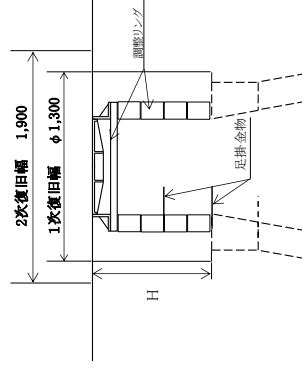
断面図（ $H=420 \sim 579\text{mm}$ ）



断面図（ $H=580 \sim 739\text{mm}$ ）



断面図（ $H=740 \sim 899\text{mm}$ ）



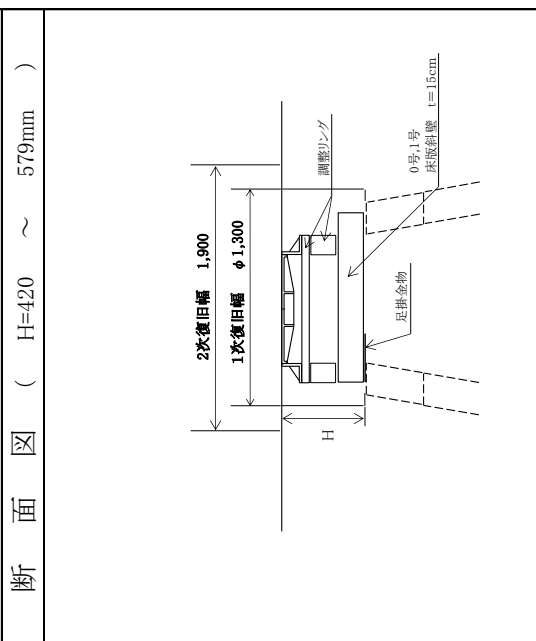
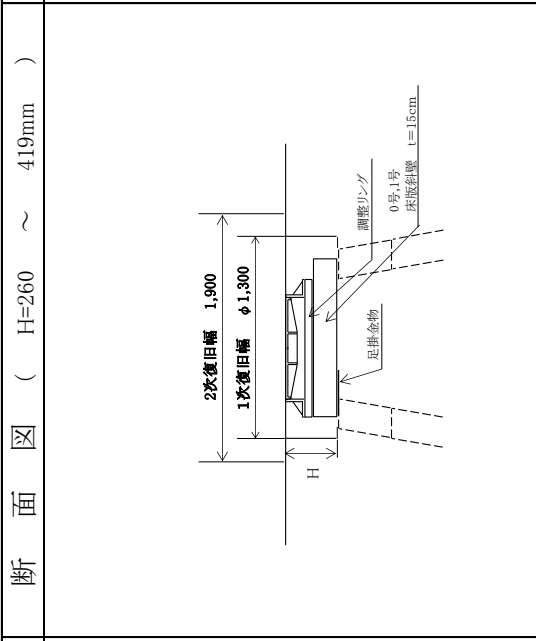
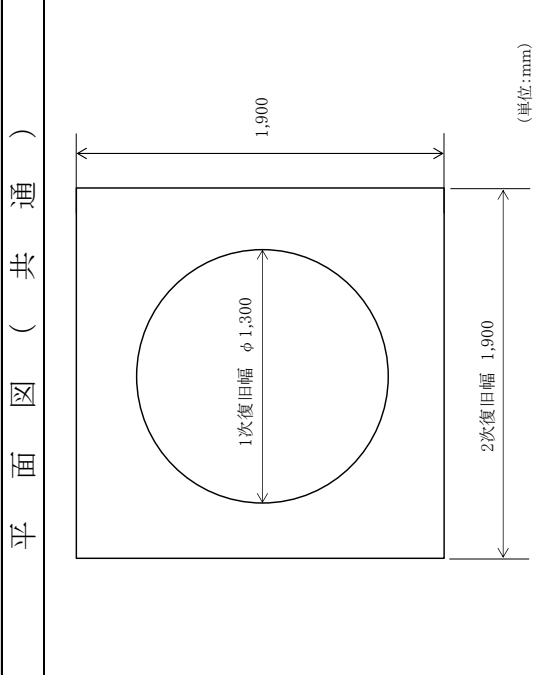
1. 箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 ($1.30 \cdot 2 - 0.638 \cdot 2) \times \pi / 4$	1.01 m ²
舗装路面1次復旧工 $1.30 \cdot 2 \times \pi / 4 - 0.32$	1.01 m ²
舗装路面切断工 1.90×4	7.60 m
舗装路面2次復旧工 $1.90 \times 1.90 - 0.32$	3.29 m ²

【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。
(最大設置間隔 300mm)

マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・床版斜壁)

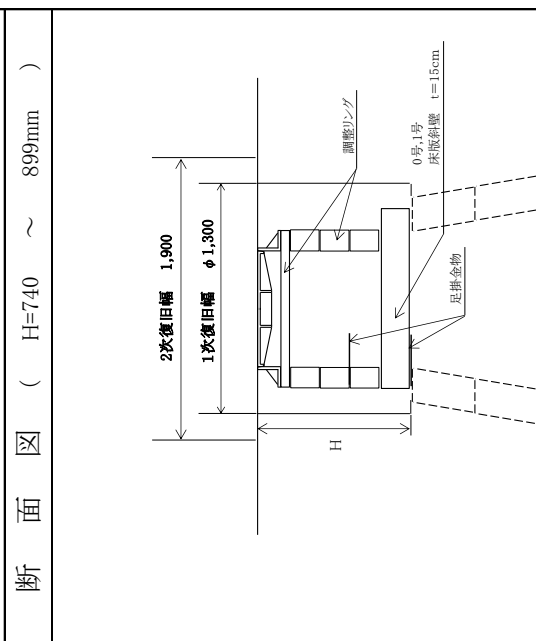
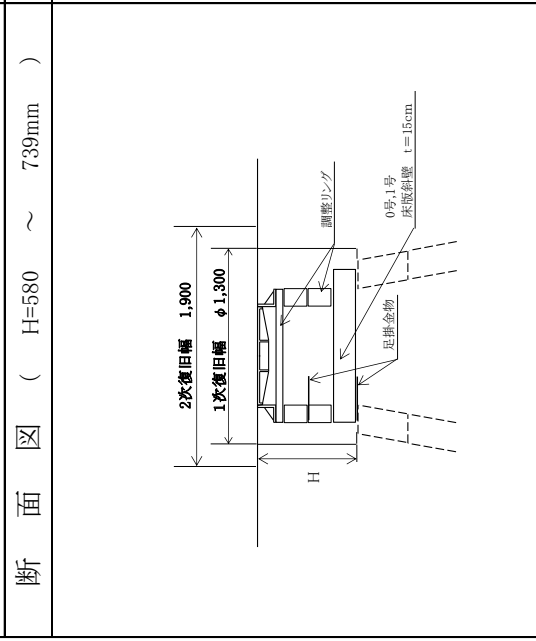


1 箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 ($1.30^2 \cdot 2 - 0.638^2$) $\times \pi / 4$	1.01 m ²
舗装路面1次復旧工 $1.30^2 \times \pi / 4 - 0.32$	1.01 m ²
舗装路面切断工 1.90×4	7.60 m
舗装路面2次復旧工 $1.90 \times 1.90 - 0.32$	3.29 m ²

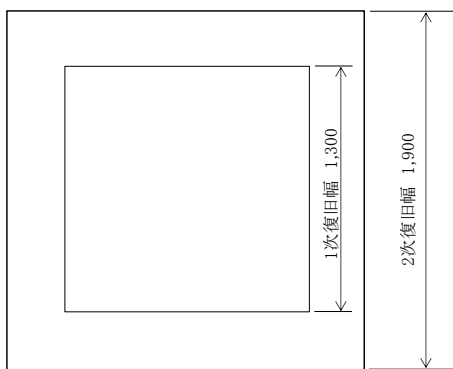
【注】

- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

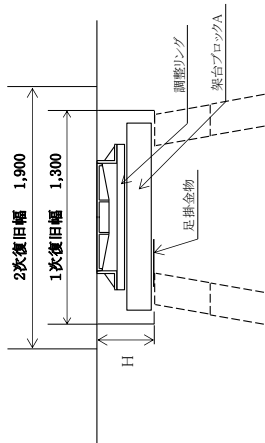


マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・架台A)

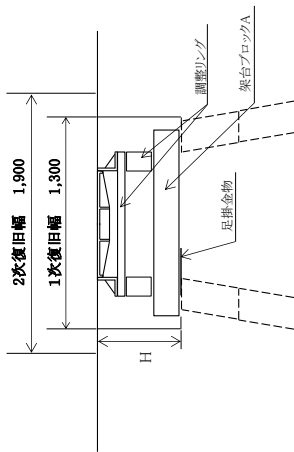
平面図 (共通)



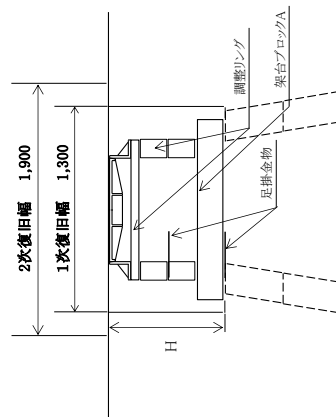
断面図 (H=260 ~ 419mm)



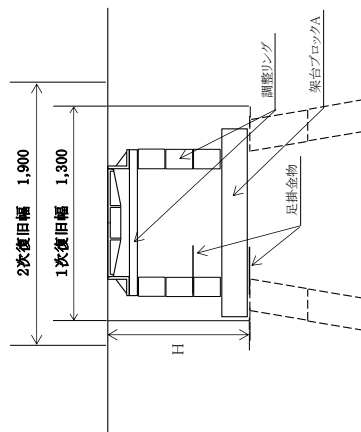
断面図 (H=420 ~ 579mm)



断面図 (H=580 ~ 739mm)



断面図 (H=740 ~ 899mm)



1 箇所あたり数量

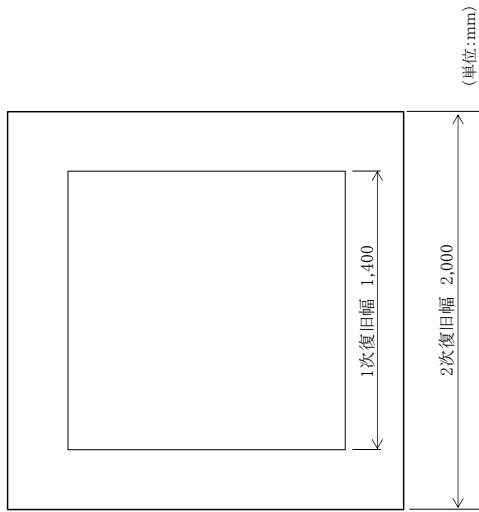
工種	数量
舗装路面取りこわし工 1.30×1.30-0.638' 2×π/4	1.37 m ²
舗装路面1次復旧工 1.30×1.30-0.32	1.37 m ²
舗装路面切断工 1.90×4	7.60 m
舗装路面2次復旧工 1.90×1.90-0.32	3.29 m ²

【 注 】

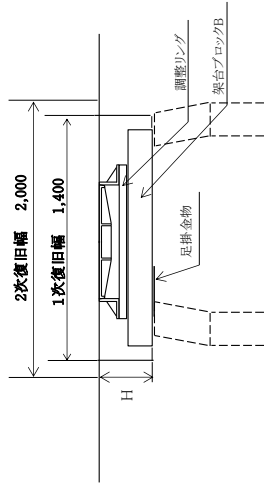
- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

マンホール蓋取替工事標準図(人力施工による工法・架台B)

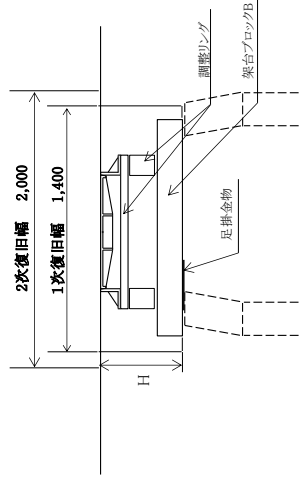
平面図 (共通)



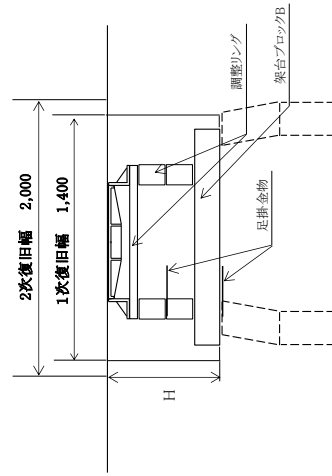
断面図 (H=260 ~ 419mm)



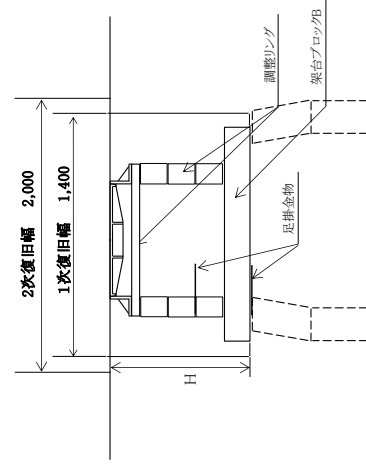
断面図 (H=420 ~ 579mm)



断面図 (H=580 ~ 739mm)



断面図 (H=740 ~ 899mm)



1 箇所あたり数量

工種	数量
舗装路面取りこわし工 1.40×1.40-0.638' 2×π/4	1.64㎡
舗装路面1次復旧工 1.40×1.40-0.32	1.64㎡
舗装路面切断工 2.00×4	8.00m
舗装路面2次復旧工 2.00×2.00-0.32	3.68㎡

【注】

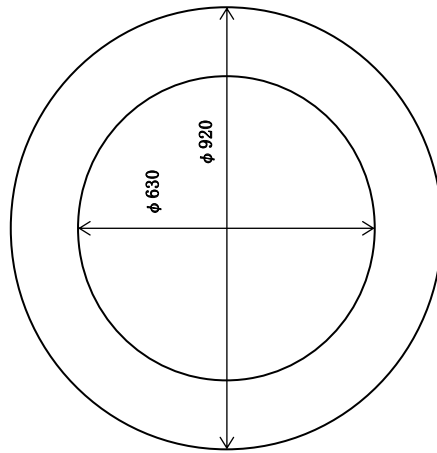
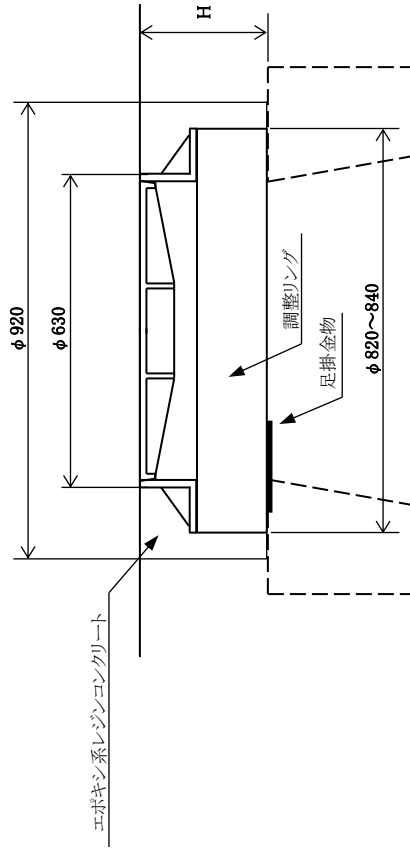
- 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
- 足掛金物は、設置間隔を考慮して配置すること。(最大設置間隔 300mm)

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ920）エポ工法

【注】

1. その他道路（幹線道路以外）において適用する。
2. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
3. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

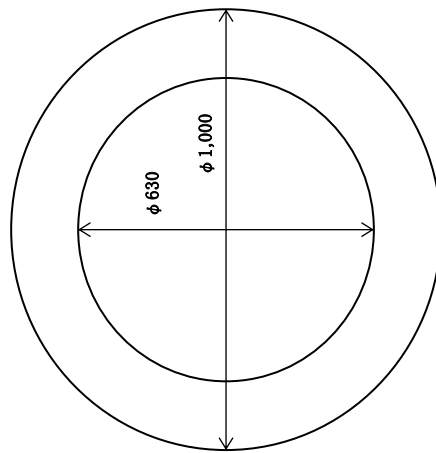
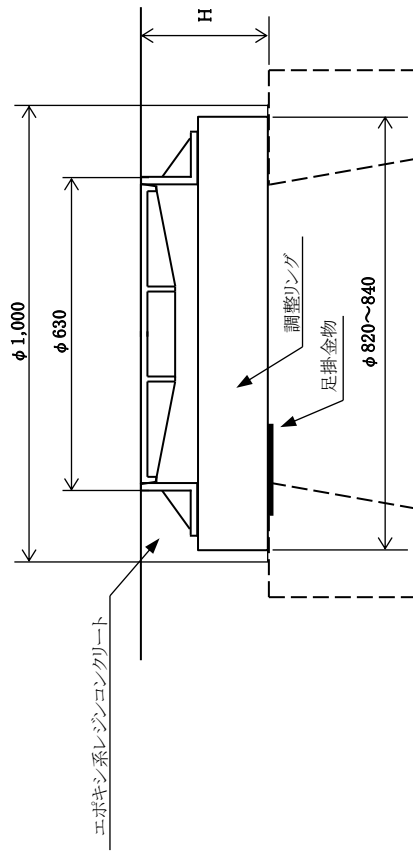
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ1,000）エポ工法

【注】

1. 幹線道路において適用する。
2. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
3. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

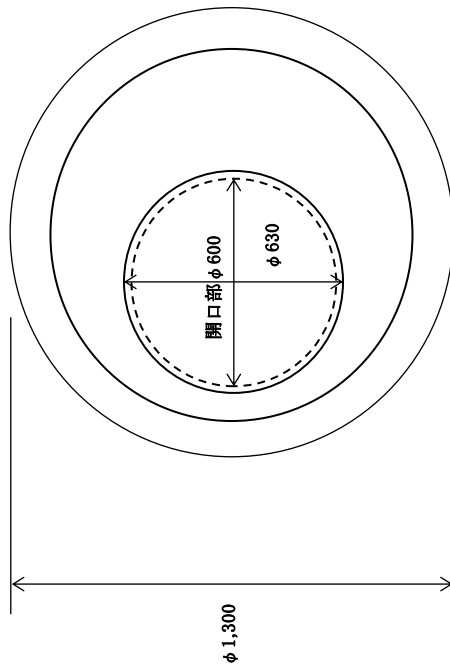
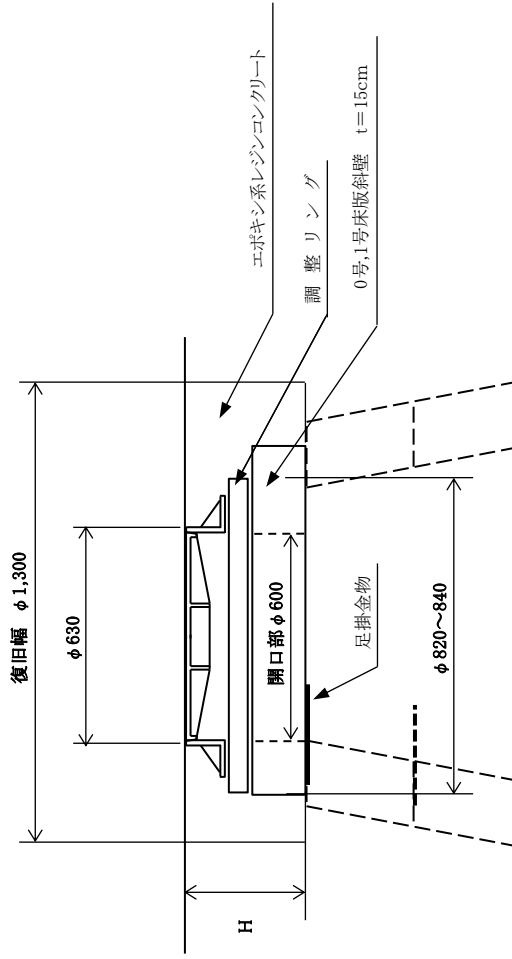
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・リングカッターによる工法 φ1,300）エポ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

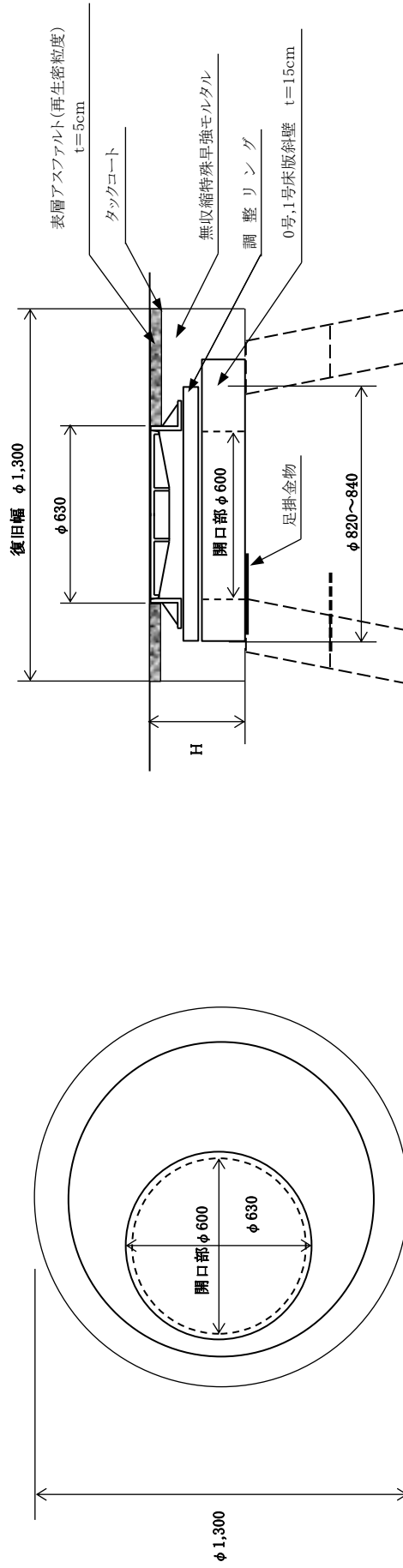
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・油圧ジャッキによる工法 φ1,300）LB・MR2工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

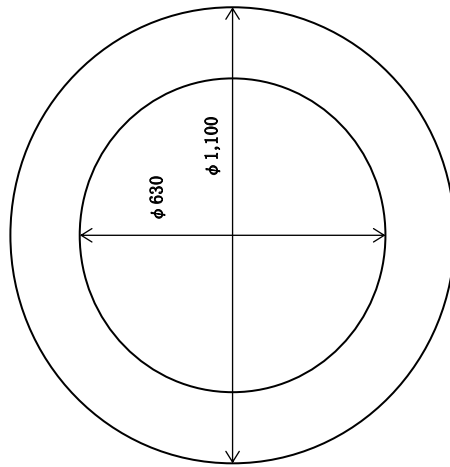
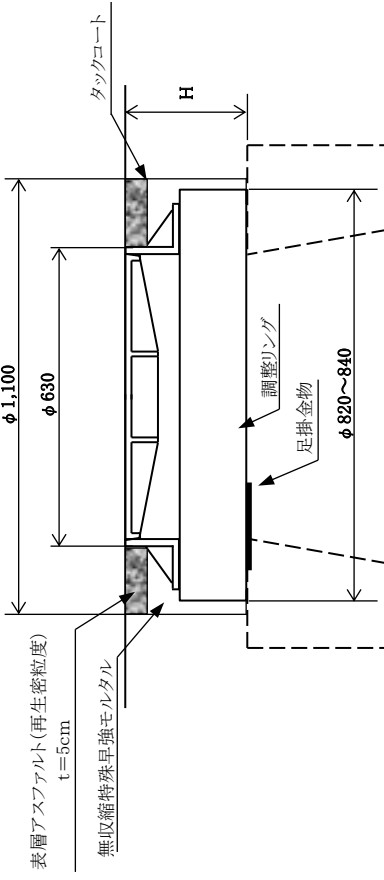
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・油圧ジャッキによる工法 φ1,100）LB・MR2工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

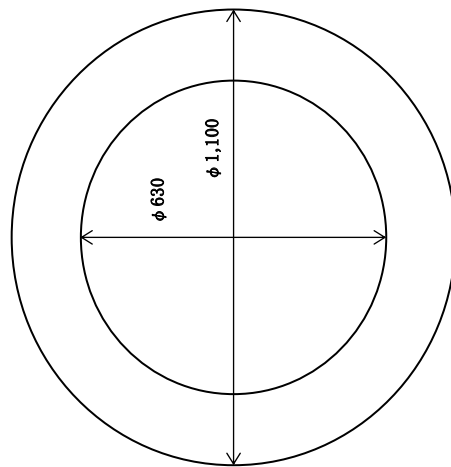
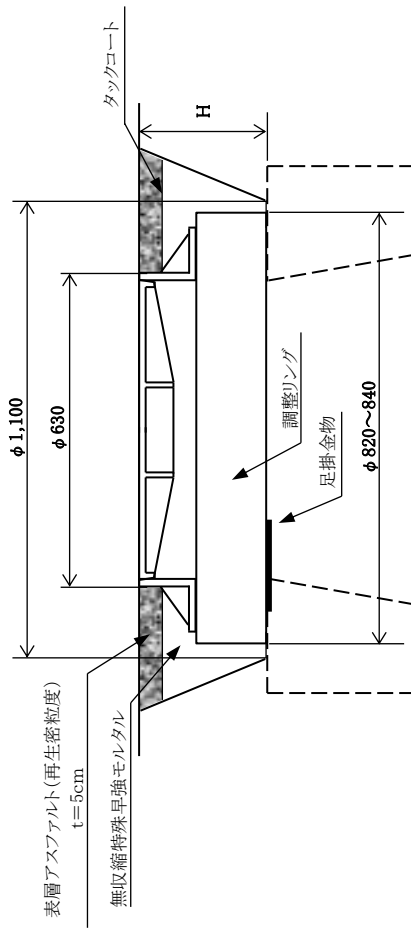
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・斜切円形カッターによる工法 φ1,100）SS工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

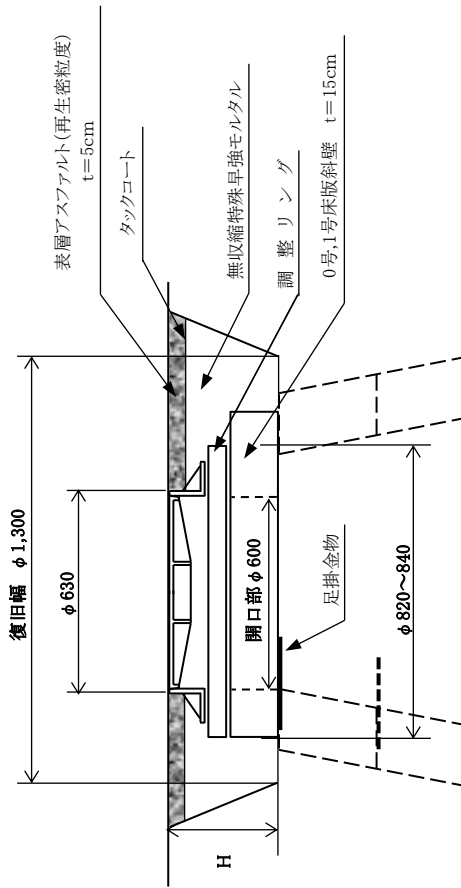
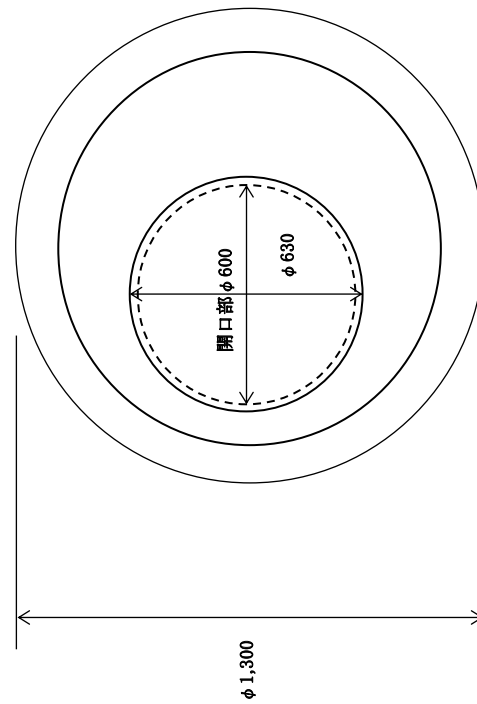
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・斜切円形カッターによる工法 φ1,300）SS工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

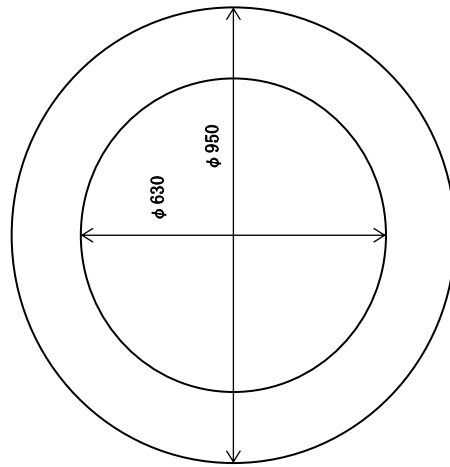
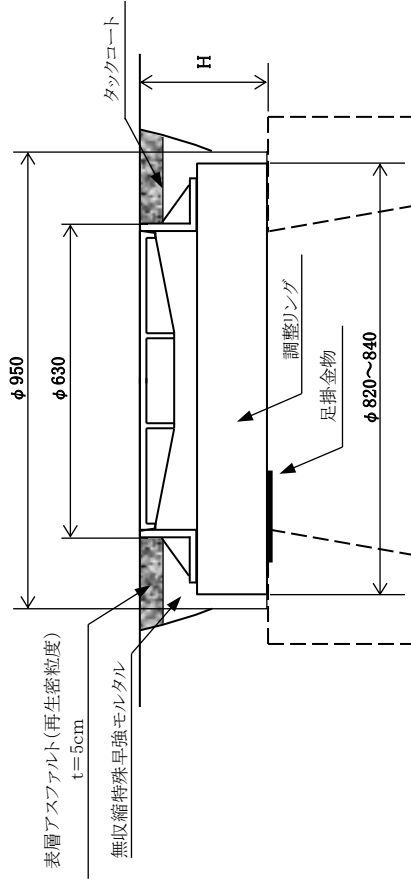
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ950）GMラウンドカッター工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

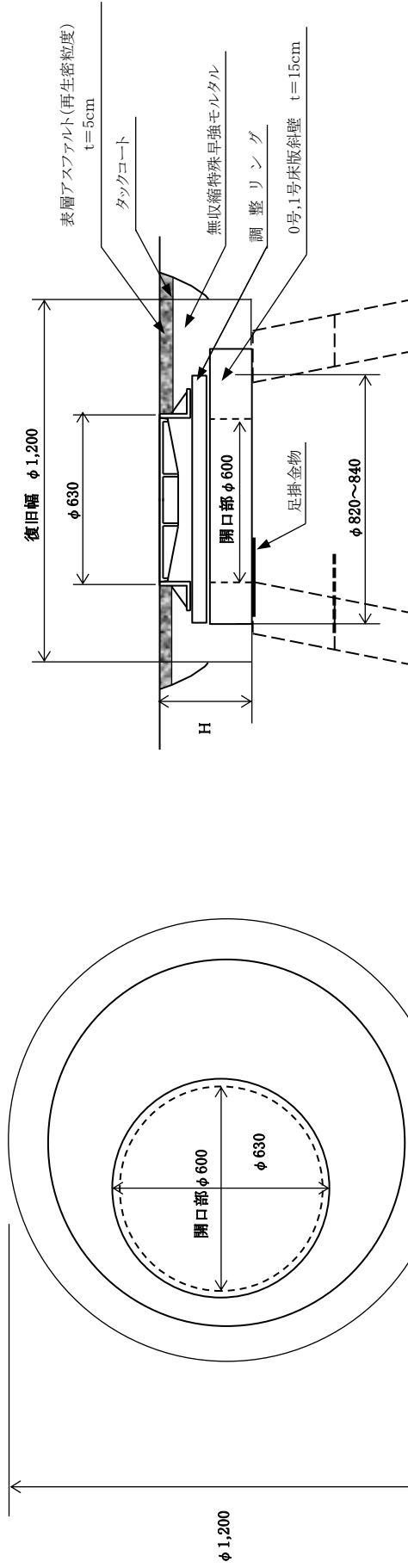
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図 (機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,200) GMラウンドカッター工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。(最大設置間隔300mm)

(単位：mm)



形状寸法

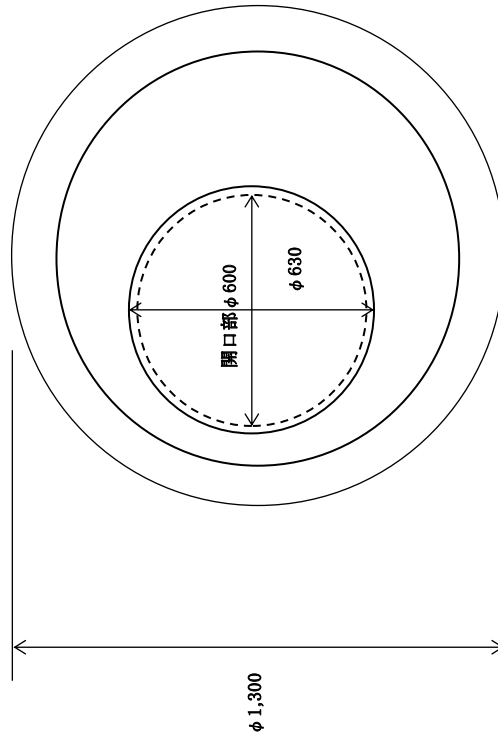
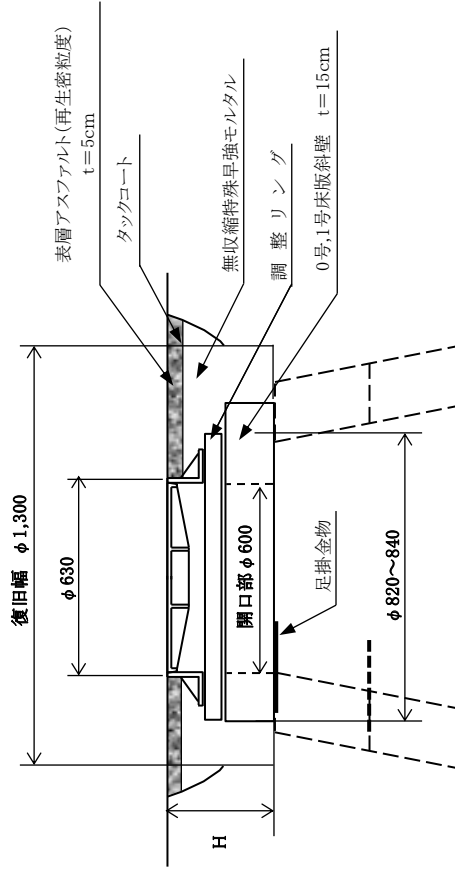
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形面カッターによる工法・φ1,300）GMラウンドカッター工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

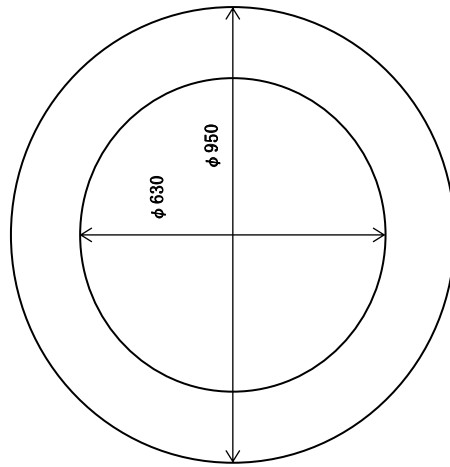
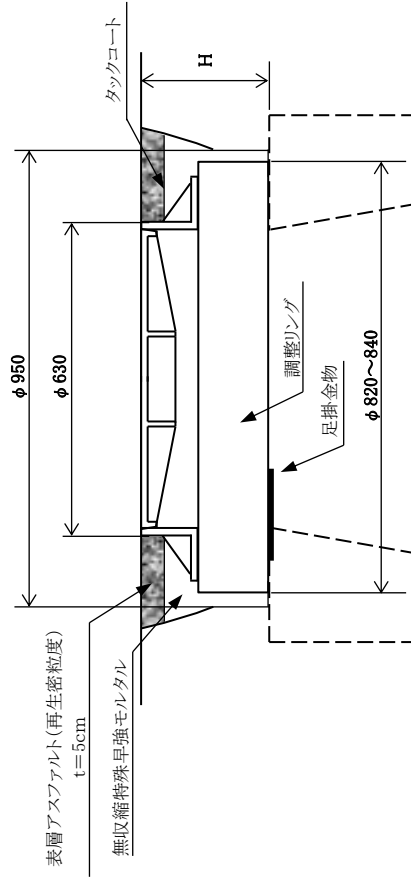
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ950）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

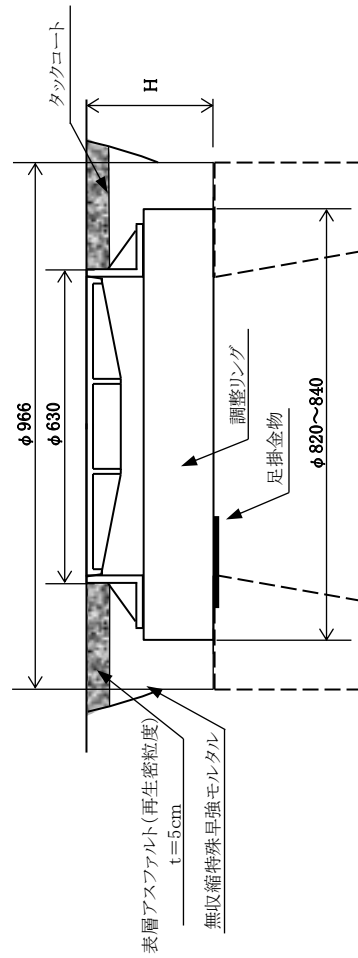
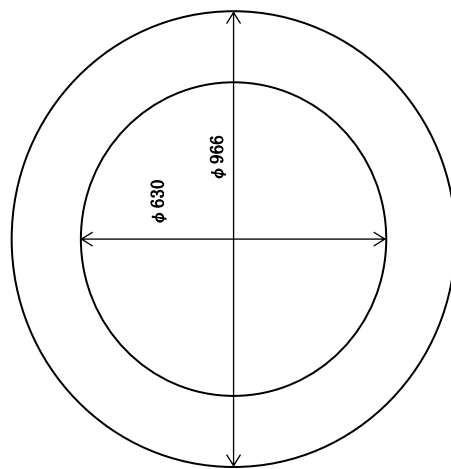
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ966）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

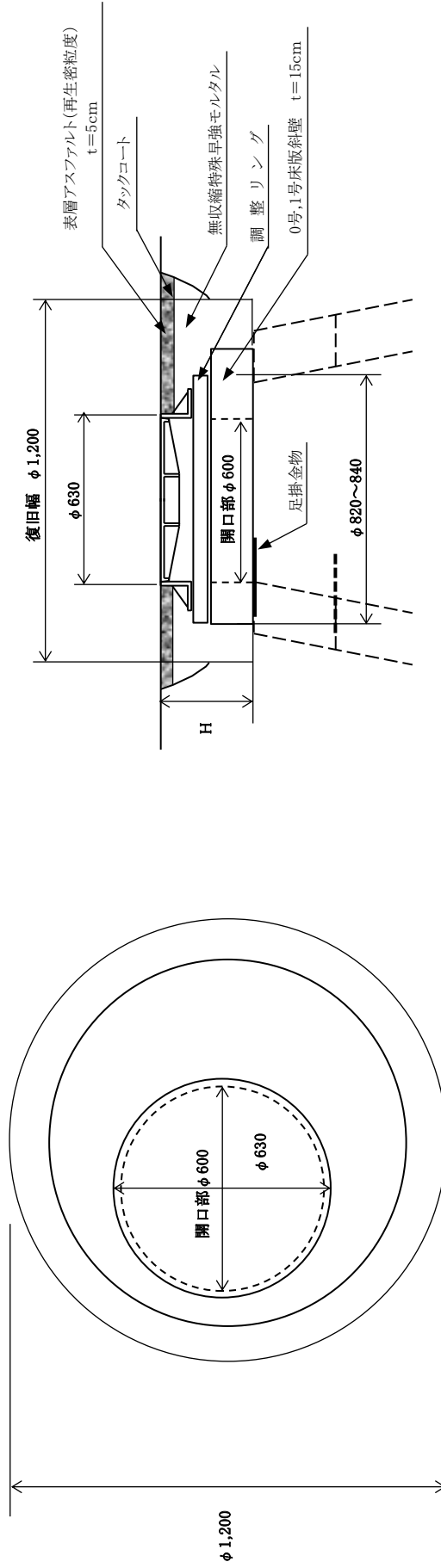
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,200）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

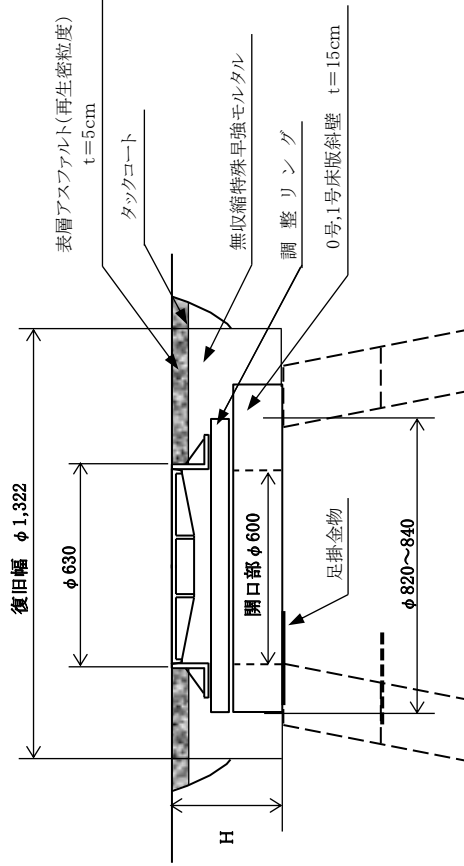
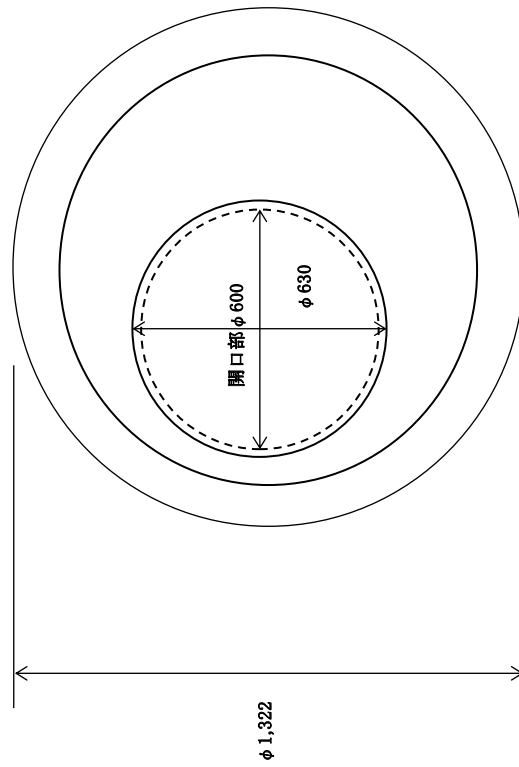
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,322）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

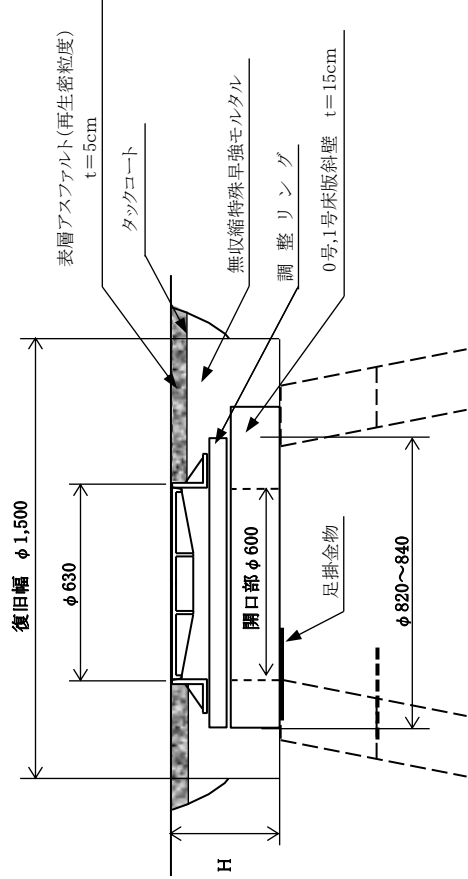
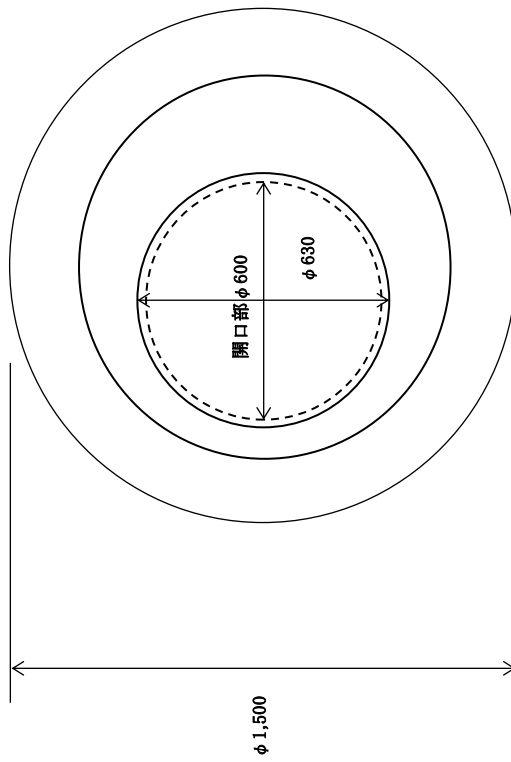
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形球面カッターによる工法 φ1,500）パラボラ工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

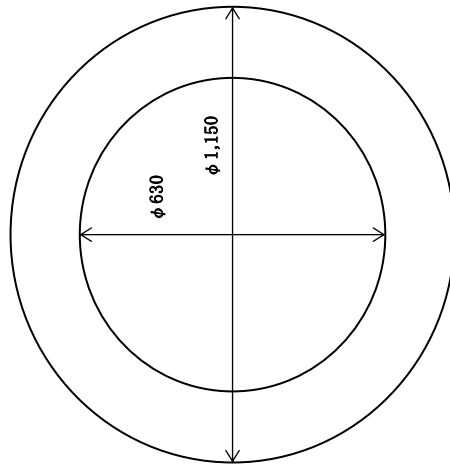
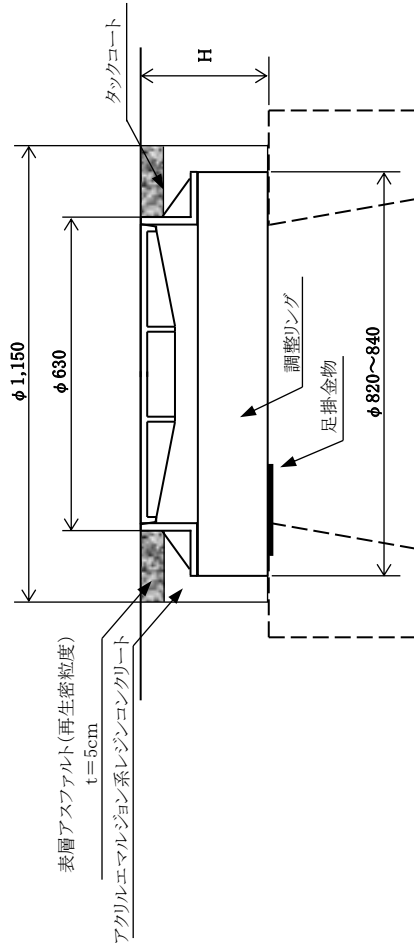
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形（ビット式）カッターによる工法 φ1,150）TM工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

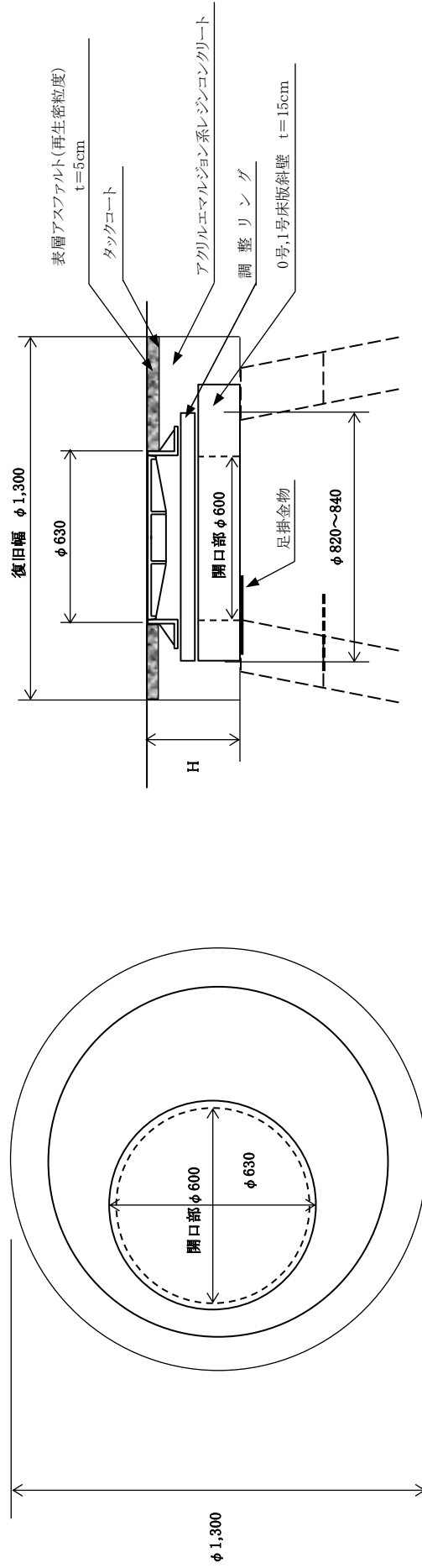
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（機械施工による工法・円形（ビット式）カッターによる工法 φ1,300）TM工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

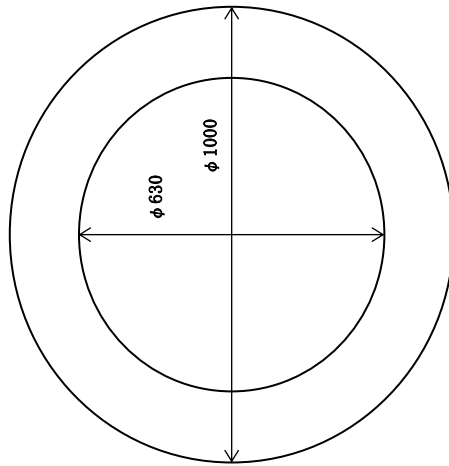
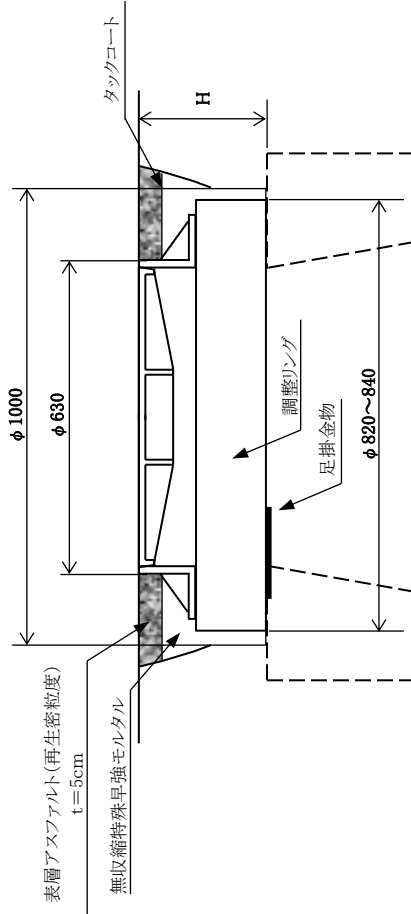
H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（円形（球面）カッターによる工法・φ1,000）サークル工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

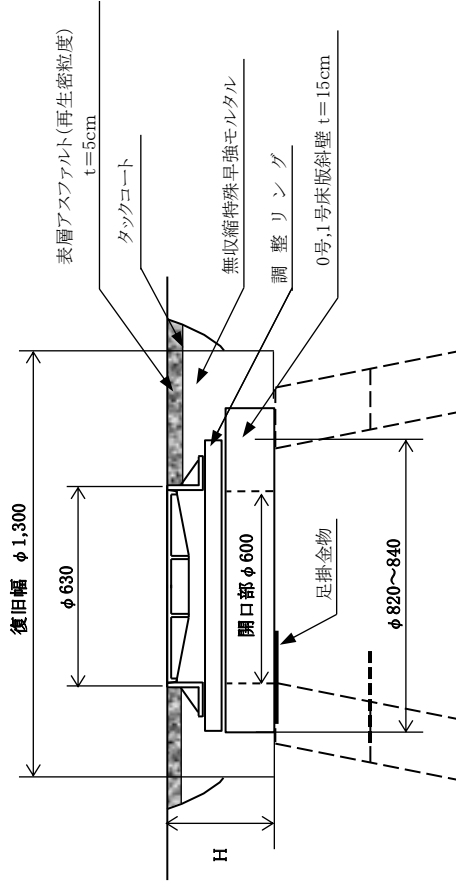
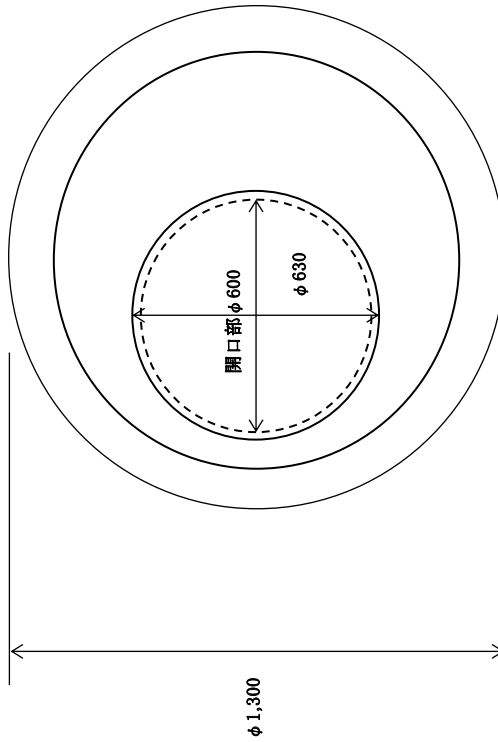
H=	~259mm
H=	260~419mm
H=	420~579mm
H=	580~739mm
H=	740~899mm

マンホール蓋取替工事標準図（球形）（円形）（球面）（円形）による工法 φ1,300）サークル工法

【注】

1. 高さ調整に使用する材料は、現場状況に見合ったものを使用すること。
2. 足掛金物は、設置間隔を考慮して設置すること。（最大設置間隔300mm）

（単位：mm）



形状寸法

H=260~419mm
H=420~579mm
H=580~739mm
H=740~899mm